

| | |
|------|-------------------|
| 受入先 | 商工観光課 |
| 隊員氏名 | 岩崎 泰依 |
| 着任日 | 平成 30 年 1 0 月 1 日 |

| | |
|------|-----------------------------|
| 活動月 | 平成 31 年 4 月（着任 7 カ月目） |
| 主な活動 | 武家屋敷を活用したイベント企画、和綿畑づくり、研修など |

1 武家屋敷コットンファームの活動

武家屋敷の西郷邸の敷地内のスペースをお借りして、和綿と蓼藍を栽培しています。栽培した和綿を秋には収穫をし糸紡ぎをしてゆくゆくはその糸から布を作りたいと計画しています。和綿とは日本国内で栽培されていた洋綿などに比べて繊維が太くて短く弾力のある綿のことで武家屋敷コットンファームでは現在 4 種類の異なる和綿を栽培しています。こんなに身近な素材でありながら日本の綿の自給率は現在 0 パーセントで日本で栽培された綿の製品を手にするには自分で作るしかないので。以前アパレル関係の仕事でインドに 1 年間駐在していました。インドでは綿の栽培が盛んでその中で手紡ぎ、手織りの「カディ」という布に出会い、自分でも日本の綿を使ってこのような布をいつか自分でも作ってみたいと思った事がきっかけで現在の活動につながっています。とはいえプランターで植物を育てたことはあるものの畑を耕すのも初めてで試行錯誤の毎日です。

●種まきイベントを開催しました

4 月 30 日に 7 名の方に集まりいただき和綿の種まきと糸紡ぎ体験をしていただきました。和綿の糸紡ぎは繊維が太くて短いため少し難しいのですが、皆さん夢中で作業に集中されていたのが印象的でした。今後もみんなでおしゃべりをしながら糸紡ぎをしたり、藍の生葉染めなどのイベントも企画していきたいと思っています。

ファームの様子 芽がでてきました



ファームの隣の公園では藤の花がきれいでした



2 滋賀・大阪・京都に研修に行ってきました

●京都、大阪の伝統的建造物保存地区視察

京都では外国人観光客の多さに驚かされました。そのため観光地、公共交通、飲食店や宿泊施設での外国語での表記など参考になる部分が多かったです。

環境に配慮したまちづくりに工夫が凝らされており、見た目にもとても美しく、これが町全体で行われていることに驚きを感じました。こういった気遣いもおもてなしの一部だと思います。



●地域おこし協力隊初任者研修と和綿栽培技能研修

滋賀の施設にて行われた地域おこし協力隊の初任者研修に参加しました。全国から 150 名の隊員と 2 泊 3 日に渡り講義やワークショップを通して仕事に関する問題や悩みについて同じ立場で話をしたり、情報交換ができた事が良かったです。また自分が公的施策としての地域おこし協力隊という立場の意味を改めて考えさせられた機会となりました。外からの目線で地域にあった柔軟な支援としての立場、そのための地域との信頼関係の構築の重要性を学びました。現在地域おこし協力隊として活動する中で今までに経験したことのない事、この仕事を通してだからこそ出来ることをこれまでの活動期間を振り返ってありがたい事だと感じました。

大阪では和綿の活動をされている方々に和綿の栽培や加工の技術指導をしていただきました。今後の武家屋敷ファームでのワークショップなどにも活用できそうです。様々な活動の中で徐々に人の輪がひろがっているのを日々感じています。

